

# IBM ThinkPad 390E

ユーザーズ・リファレンス 補足版





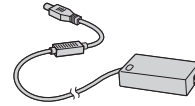
# IBM ThinkPad 390E

ユーザーズ・リファレンス 補足版

## AC アダプターについて

ThinkPad の AC アダプターは、日本国内での使用を前提として、次の規格に適合しています。

- 定格：
  - 入力: AC 100V 50/60Hz
  - 出力: DC 16V
- 型式認可番号：第 91 - 56010 号、第 91 - 56011 号、第 91 - 56012 号、第 91 - 56055 号、第 91 - 56887 号、第 91 - 56271 号



## 第 1 版 (1999 年 2 月)

原 典： V27L8679  
IBM ThinkPad 390E  
Supplement  
発 行： 日本アイ・ピー・エム株式会社  
担 当： ナショナル・ランゲージ・サポート

IBM ThinkPad 390E は、IBM ThinkPad 390 の機能を強化したものです。本書では、*IBM ThinkPad 390 ユーザーズ・リファレンス* および IBM ThinkPad 390E に付属の他のマニュアルで説明されていない補足情報を提供します。



---

まえがき	iii
<b>第1章 ThinkPad 独自の機能</b>	<b>1</b>
「BIOS セットアップ・ユーティリティー」の使用	1
Config	3
Date/Time	9
Password	10
Startup	11
Restart	15
ハイバネーション機能を使用可能にする	16
トラックポイントのカスタマイズ	16
<b>第2章 パスワードの使用</b>	<b>17</b>
<b>第3章 問題が起こったら...</b>	<b>21</b>
よく聞かれる質問と答え	21
ヒントおよび制限事項	23
問題判別表	25
エラー・コードまたはメッセージ	25
LCD (液晶ディスプレイ) の問題	28
<b>第4章 仕様</b>	<b>29</b>
ご使用の ThinkPad にテレビを接続するには	30





## 「BIOS セットアップ・ユーティリティ」の使用

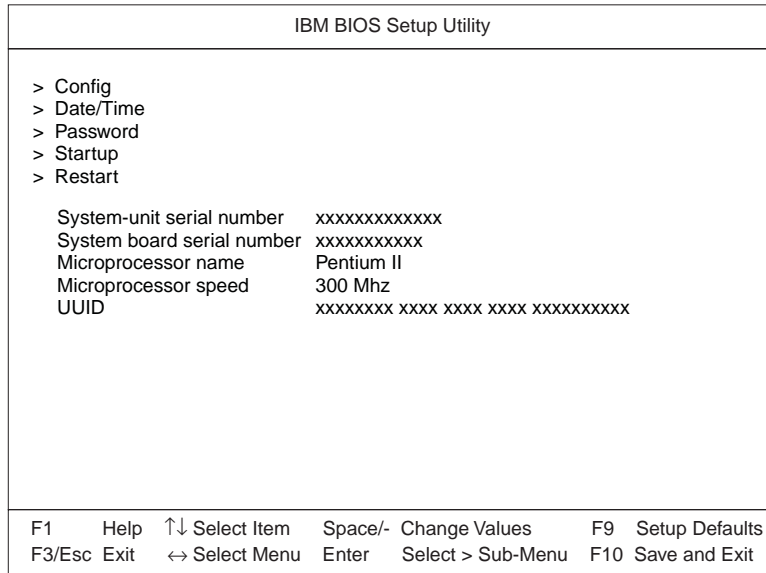
ご使用の ThinkPad には、各種のセットアップ・パラメーターを選択できる「BIOS セットアップ・ユーティリティ」が内蔵されています。

- **Config** : ご使用の ThinkPad の構成を設定します。
- **Date/Time** : 日付と時刻を設定します。
- **Password** : パスワードを設定します。
- **Startup** : デバイスの始動優先順位を設定します。
- **Restart** : システムを再起動します。

「BIOS セットアップ・ユーティリティ」を始動する手順は、次のとおりです。

- 1** ディスケット・ドライブからディスクを取り出し、また CD-ROM ドライブから CD-ROM を取り出します。次に、ThinkPad の電源をオフにします。
- 2** ThinkPad の電源をオンにし、IBM ThinkPad のロゴ・マークが表示されている間に、**F1** キーを押します。

「BIOS セットアップ・ユーティリティ」メニューが表示されます。(実際の表示画面は若干異なることがあります。)



**3** 矢印キーを使用して、変更する項目に移動し、**Enter** キーを押します。  
サブメニューが表示されます。

**4** 選択した項目を変更します。

項目の値を変更するには、**スペース** キーまたは **-** (マイナス) キーを使用します。

**5** **F3** キーまたは **Esc** キーを押して、サブメニューを終了します。

注: さらに下の階層のサブメニューを開いている場合は、「BIOS セットアップ・ユーティリティー」のメイン・メニューに戻るまで、**F3** キーまたは **Esc** キーを押します。

**6** **F10** キー、**Enter** キーの順に押して変更を保存し、「BIOS セットアップ・ユーティリティー」メニューを終了します。

ThinkPad が再起動します。

注: 変更を取り消したい場合は、15ページの『Restart』の「Discard」オプションを使用してください。

# Config

**Config** 項目を選択し、**Enter** キーを押すと、次の「Config」サブメニューが表示されます。

IBM BIOS Setup Utility	
Config	Item Specific Help
> Memory > System Board > Network Initialize > Advanced Setup	
F1 Help    ↑↓ Select Item    Space/- Change Values    F9 Setup Defaults	
F3/Esc Exit    ↔ Select Menu    Enter Select > Sub-Menu    F10 Save and Exit	

「Config」サブメニューには、次のものがあります。

- **Memory** は、「Memory」サブメニューに入ります。
- **System Board** は、「System Board」サブメニューに入ります。
- **Network** は、「Network」サブメニューに入ります。
- **Initialize** は、「BIOS セットアップ・ユーティリティ」におけるすべてのパラメーターの省略時値をロードします。
- **Advanced Setup** は、「Advanced Setup」サブメニューに入ります。

## Memory

**Memory** 項目を選択し、**Enter** キーを押すと、次の「Memory」サブメニューが表示されます。(実際の表示画面は若干異なることがあります。)

IBM BIOS Setup Utility		
Memory		Item Specific Help
Installed memory	32768 KB	
Usable memory	32000 KB	
F1 Help    ↑↓ Select Item    Space/- Change Values    F9 Setup Defaults F3/Esc Exit    ↔ Select Menu    Enter Select > Sub-Menu    F10 Save and Exit		

このサブメニューには、ご使用の ThinkPad のメモリーに関する情報が表示されま  
す。

## System Board

**System Board** 項目を選択し、**Enter** キーを押すと、次の「System Board」サブメニューが表示されます。(実際の表示画面は若干異なることがあります。)

IBM BIOS Setup Utility	
System Board	Item Specific Help
BIOS Version: V1.0 R00_C5 VideoBIOS Version: 1.0e Slave Controller Version: 0.00	
F1 Help    ↑↓ Select Item    Space/- Change Values    F9 Setup Defaults F3/Esc Exit    ↔ Select Menu    Enter Select > Sub-Menu    F10 Save and Exit	

このサブメニューには、ご使用の ThinkPad のシステム・ボードに関する情報が表示されます。

## Network

**Network** 項目を選択し、**Enter** キーを押すと、次の「Network」サブメニューが表示されます。(実際の表示画面は若干異なることがあります。)

IBM BIOS Setup Utility	
Network	Item Specific Help
Wake On LAN: [Disabled] Flash Over LAN [Enabled]	
F1 Help    ↑↓ Select Item    Space/- Change Values    F9 Setup Defaults F3/Esc Exit    ↔ Select Menu    Enter Select > Sub-Menu    F10 Save and Exit	

「Network」サブメニューには、次のものがあります。

- **Wake On LAN** は、ネットワークを介して、ThinkPad をリモートで起動できます。
- **Flash Over LAN** は、ネットワークを介して、システム管理者が ThinkPad の BIOS を更新できます。

## Advanced Setup

注: 省略時の設定は、お客様のためにすでに最適化されているので、画面上の設定値を変更する必要はありません。値を変更すると、デバイスの競合が生じたり、オペレーティング・システムが正しく起動しなかったりすることがあります。

**Advanced Setup** 項目を選択し、**Enter** キーを押すと、次の「Advanced Setup」サブメニューが表示されます。

IBM BIOS Setup Utility	
Advanced Setup	Item Specific Help
> Serial Port > InfraRed > Modem for Legacy OS > Parallel Port > PCI > Keyboard/Mouse > Power > Others	
F1 Help ↑↓ Select Item F3/Esc Exit ↔ Select Menu	Space/- Change Values Enter Select > Sub-Menu F9 Setup Defaults F10 Save and Exit

「Advanced Setup」サブメニューには、次のものがあります。

- **Serial Port** は、シリアル・ポートのリソース値を設定するサブメニューに入ります。
- **InfraRed** は、赤外線ポートのリソース値を設定するサブメニューに入ります。
- **Modem for Legacy OS** は、DOS や Microsoft Windows 3.1 などのプラグアンドプレイに対応していないオペレーティング・システムを使用している場合に、モデム・ポートのリソース値を設定するサブメニューに入ります。ただし、日本向けモデルには内蔵モデムが搭載されていませんので該当しません。
- **Parallel Port** は、パラレル・ポートのリソース値を設定するサブメニューに入ります。

- **PCI** は、PCI デバイスの ISA IRQ ラインを割り当てるサブメニューに入ります。
- **Keyboard/Mouse** は、キーボードおよびマウスの値を設定するサブメニューに入ります。
- **Power** は、電源管理に関する値を設定するサブメニューに入ります。
- **Others** は、ThinkPad 用の他のハードウェア・オプションを設定するサブメニューに入ります。



## Date/Time

**Date/Time** 項目を選択し、**Enter** キーを押すと、次の「Date/Time」サブメニューが表示されます。(実際の表示画面は若干異なることがあります。)

IBM BIOS Setup Utility		Item Specific Help
Date/Time		
System Time:	[17:25:48]	
System Date:	[11/16/1998]	
F1 Help    ↑↓ Select Item    Space/- Change Values    F9 Setup Defaults F3/Esc Exit    ↔ Select Menu    Enter Select > Sub-Menu    F10 Save and Exit		

日付と時刻を変更する手順は、次のとおりです。

- 1 矢印キー (  または  ) を押して、日付または時刻を変更する項目を選択します。
- 2 **Tab** キーまたは **Enter** キーを押して、変更する部分を選択します。
- 3 日付または時刻を入力します。  
注: 日付または時刻を入力する代わりに、**スペース** キーまたは **-** (マイナス) キーを押して、日付と時刻を調節できます。
- 4 **F10** キー、**Enter** キーの順に押して変更を保存し、「BIOS セットアップ・ユーティリティ」メニューを終了します。

ThinkPad が再起動します。

注: 現在の日付と時刻を設定は、ThinkPad にインストールされているオペレーティング・システムのアプリケーションを使用して行うこともできます。

# Password

**Password** 項目を選択し、**Enter** キーを押すと、次の「Password」サブメニューが表示されます。(実際の表示画面は若干異なることがあります。)

IBM BIOS Setup Utility	
Password	Item Specific Help
Set Power-On Password [Enter] Set Hard Disk1 Password [Enter] Set Hard Disk2 Password [Enter] Set Supervisor Password [Enter]	
F1 Help ↑↓ Select Item Space/- Change Values F9 Setup Defaults F3/Esc Exit ↔ Select Menu Enter Select > Sub-Menu F10 Save and Exit	

このサブメニューは、始動 (Power-On) パスワード、ハードディスク (Hard Disk) ・パスワード、およびスーパーバイザー (Supervisor) パスワードを設定するために使用します。詳しい情報については、詳しい情報については、17ページの第2章、『パスワードの使用』を参照してください。

# Startup

**Startup** 項目を選択し、**Enter** キーを押すと、次の「Startup」サブメニューが表示されます。

IBM BIOS Setup Utility	
Startup	Item Specific Help
> Power On > Network	
F1 Help    ↑↓ Select Item    Space/- Change Values    F9 Setup Defaults F3/Esc Exit    ↔ Select Menu    Enter Select > Sub-Menu    F10 Save and Exit	

「Startup」サブメニューには、次のものがあります。

- **Power On** は、「Power On」サブメニューに入ります。
- **Network** は、「Network」サブメニューに入ります。

## Power On

**Power On** 項目を選択し、**Enter** キーを押すと、次の「Power On」サブメニューが表示されます。(実際の表示画面は若干異なることがあります。)

IBM BIOS Setup Utility	
Power On	Item Specific Help
+ Removable Devices + Hard Drive ATAPI CD-ROM Drive Network Boot	
F1 Help	↑↓ Select Item
F3/Esc Exit	↔ Select Menu
Space/- Change Values	Enter Select > Sub-Menu
F9 Setup Defaults	F10 Save and Exit

「Power On」サブメニューは、ご使用の ThinkPad のドライブの始動優先順位を変更するのに使用します。たとえば、着脱式ハードディスク・ドライブまたは CD-ROM など複数のデバイスに、オペレーティング・システムがインストールされている場合は、それらのデバイスのどれかからシステムを起動させることができます。

注: ThinkPad 390E は、ウルトラベイ FX にオプションのセカンド・ハードディスク・ドライブ (別売り) を取り付けることができます。セカンド・ハードディスク・ドライブのオプションは、ThinkPad をお買い求めになられた販売店でご購入ください。

考慮事項: 始動順序を変更したあとは、ドライブ名の割り当てが変わることがありますので、コピー、保存、またはフォーマット操作などで、誤ったデバイスを指定しないように細心の注意が必要です。デバイスを誤って指定すると、データやプログラムが消去されたり上書きされたりすることがあります。

## Network

**Network** 項目を選択し、**Enter** キーを押すと、次の「Network」サブメニューが表示されます。(実際の表示画面は若干異なることがあります。)

IBM BIOS Setup Utility	
Network	Item Specific Help
+ Removable Devices + Hard Drive ATAPI CD-ROM Drive Network Boot	
F1 Help    ↑↓ Select Item    Space/- Change Values    F9 Setup Defaults F3/Esc Exit    ↔ Select Menu    Enter Select > Sub-Menu    F10 Save and Exit	

「Network」サブメニューは、Wake On Lan が使用可能になっている場合に、ご使用のThinkPad の始動ドライブの優先順位を変更するために使用します。

注: Wake On LAN は、通常、企業のネットワークを管理する LAN 管理者が、ネットワークを介してリモートで ThinkPad にアクセスするときに使用します。

考慮事項: 始動順序を変更したあとは、ドライブ名の割り当てが変わることがありますので、コピー、保存、またはフォーマット操作などで、誤ったデバイスを指定しないように細心の注意が必要です。デバイスを誤って指定すると、データやプログラムが消去されたり上書きされたりすることがあります。

## 始動順序の変更

始動順序を変更する手順は、次のとおりです。

1. 矢印キー (  または  ) を押して、変更する項目を選択します。
2.  (+) キーを押して、優先順位リスト中の項目を上に移動し、 (-) (マイナス) キーを押して、優先順位リスト中の項目を下に移動します。

注: 項目の手前に + の記号がある場合は、その下の層にさらに項目があることを表します。それらの項目を表示するには、**Enter** キーを押します。項目を選択し、 (+) キーを押して優先順位リスト中の項目を上に移動し、 (-) (マイナス) キーを押して優先順位リスト中の項目を下に移動します。下の層の項目を閉じるには、**Enter** キーを押します。

3. 変更する項目の数だけ、手順の 1 と 2 を繰り返します。
4. **F10** キー、**Enter** キーの順に押して変更を保存し、「BIOS セットアップ・ユーティリティ」メニューを終了します。

ThinkPad が再起動します。

始動順序でデバイスを使用可能または使用不可にする手順は、次のとおりです。

1. 矢印キー (  または  ) を押して、始動順序から外すデバイスを選択します。
2. **Shift** キーを押しながら **1** キーを押して、デバイスを使用可能または使用不可にします。
3. 使用可能または使用不可にするデバイスの数だけ、手順の 1 と 2 を繰り返します。
4. **F10** キー、**Enter** キーの順に押して変更を保存し、「BIOS セットアップ・ユーティリティ」メニューを終了します。

ThinkPad が再起動します。

# Restart

**Restart** 項目を選択し、**Enter** キーを押すと、次の「Restart」サブメニューが表示されます。(実際の表示画面は若干異なることがあります。)

IBM BIOS Setup Utility	
Restart	Item Specific Help
Exit Saving Changes Exit Discarding Changes Discard Changes Save Changes	
F1 Help    ↑↓ Select Item    Space/- Change Values    F9 Setup Defaults F3/Esc Exit    ↔ Select Menu    Enter Select > Sub-Menu    F10 Save and Exit	

「Restart」サブメニューには、次のものがあります。


- **Exit Saving Changes** は、変更を保存して、「BIOSセットアップ・ユーティリティー」を終了します。
- **Exit Discarding Changes** は、変更を取り消して、「BIOS セットアップ・ユーティリティー」終了します。
- **Discard Changes** は、変更を取り消します。
- **Save Changes** は、変更を保存します。

上記の中からどれかを選択し、**Enter** キーを押します。

# ハイバネーション機能を使用可能にする

**Windows 98、Windows 95、および Windows NT の場合:**

ハイバネーション機能を使用可能にする手順は、次のとおりです。

- 1** タスクバーの「スタート」をクリックします。
- 2** カーソルを「プログラム」、「ThinkPad」の順に移動し、「ThinkPad の設定」をクリックします。
- 3** 「パワーマネージメント」() アイコンをクリックします。  
「電源の管理のプロパティ」ウィンドウが表示されます。
- 4** ハイバネーション・オプションの中から、使用可能にするハイバネーション・モードのチェック・ボックスにチェック・マークを付けます。
- 5** 「OK」 ボタンをクリックし、「ThinkPad の設定」プログラムを終了します。

# トラックポイントのカスタマイズ

トラックポイントをカスタマイズする手順は、次のとおりです。

- 1** タスクバーの「スタート」から、「設定」、「コントロール パネル」の順にクリックします。
- 2** 「トラックポイント」アイコンをダブルクリックします。

あとの手順は、*ユーザーズ・リファレンス* の 40 ページ以降をお読みください。



パスワード設定機能を使用すると、使用許可を受けていない人が ThinkPad を使用するのを防ぐことができます。パスワードが設定されていると、ThinkPad の電源をオンにするたびにプロンプトが表示されます。このプロンプトにパスワードを入力する必要があり、正しいパスワードを入力しなければ、ThinkPad を使用できません。ご使用の ThinkPad には、次のパスワードを設定できます。

- 始動パスワード

使用許可を受けていない人が ThinkPad を使用するのを防ぐために、始動パスワードを設定します。始動パスワードには、次のセキュリティ機能があります。

- 始動時には 始動パスワードを入力する必要があります。そのため、許可を受けていないユーザーは、ThinkPad を使用できません。
- サスペンド・モードから通常の操作状態に戻るときに、始動パスワードを入力する必要があります。そのため、許可を受けていないユーザーは、ThinkPad を使用できません。

- ハードディスク・パスワード

ハードディスク・パスワードは、さらに高いセキュリティ機能を提供します。たとえ、始動パスワードを設定していても、ThinkPad のハードディスク・ドライブを取り外し、別の ThinkPad に取り付ければ、データにアクセスできてしまいます。しかし、ハードディスク・パスワードを設定すると、パスワードを知らないユーザーは、ハードディスク上のデータにアクセスできません。ハードディスク・パスワードには、次のセキュリティ機能があります。

- 始動時には、始動パスワードを入力する必要があります。
- ハードディスク・ドライブが他の ThinkPad に取り付けられても、始動時にはハードディスク・パスワードを入力する必要があります。そのため、たとえハードディスク・ドライブだけを取り付けても、許可を受けていないユーザーは、ハードディスク上のデータにアクセスできません。

注： システム管理者が、ハードディスク・パスワードを使用できない状態に設定することもできます。

- スーパーバイザー・パスワード

スーパーバイザー・パスワードは、システム管理者用に提供されるツールで、複数の ThinkPad を管理するために使用されます。スーパーバイザー・パスワード

ドは、システム管理者によって設定されるものであり、ユーザーには必要ありません。ユーザーは、スーパーバイザー・パスワードを知らなくても、ThinkPad を起動できます。ただし、スーパーバイザー・パスワードは、「BIOS セットアップ・ユーティリティー」にアクセスするときに限り、必要になります。スーパーバイザー・パスワードには、次のセキュリティー機能があります。

- システム管理者だけが「BIOS セットアップ・ユーティリティー」にアクセスできます。スーパーバイザー・パスワードが設定されている場合は、「BIOS セットアップ・ユーティリティー」を始動しようとする、パスワード・プロンプトが表示されます。
  - 許可を受けていないユーザーからデータを守るために、始動パスワードを使用できますが、システム管理者が始動パスワードを設定する必要があります。
  - たとえ始動パスワードが設定されている ThinkPad であっても、システム管理者であれば、スーパーバイザー・パスワードを使用して、その ThinkPad にアクセスできます。スーパーバイザー・パスワードが、始動パスワードよりも優先されるからです。
  - スーパーバイザー・パスワードは、ハードディスク・パスワードとして上書きされます。ハードディスクをスーパーバイザー・パスワードで保護し、許可を受けていないユーザーが、ハードディスク上のデータにアクセスできないようにします。固有のスーパーバイザー・パスワードが設定されている別の ThinkPad に、ご使用のハードディスク・ドライブを取り付けて使用することはできません。
  - システム管理者は、同一のスーパーバイザー・パスワードを複数の ThinkPad に設定して、管理しやすくできます。
- その他のパスワード
- 一部の Microsoft 社のオペレーティング・システムでは、独自の Windows 用パスワードを提供しています。これらのパスワードの設定方法、変更方法、および使用方法については、そのオペレーティング・システムのユーザーズ・ガイドを参照してください。

— パスワードを忘れないでください —

ハードディスク・パスワードおよびスーパーバイザー・パスワードを忘れた場合、パスワードを再設定することも、ハードディスクからデータを復元することもできません。その場合は、ご使用の ThinkPad を、許可を受けている IBM 代理店または IBM 営業員までお持ちいただき、ハードディスクまたはシステム・ボードを交換することになります。このサービスを受けるには購入を証明するものが必要になり、料金が別途かかります。



### よく聞かれる質問と答え

---

オフィスではマウスを外付けで使用し、それ以外ではトラックポイントを使用するには、どうすればよいですか？

---

外付け **PS/2** マウスの場合

外付けマウスは以下のようにして使用します。

- 1** 作業を保管し、使用中のプログラムをすべて終了します。
- 2** ThinkPad の電源をオフにします。
- 3** 外付けマウスを接続します。
- 4** ThinkPad の電源をオンにします。


トラックポイントは自動的に使用不可となります。

トラックポイントを再び使用するには、以下のようにします。


- 1** 作業を保管し、使用中のプログラムをすべて終了します。
  - 2** ThinkPad の電源をオフにします。
  - 3** 外付けマウスを切り離します。
  - 4** ThinkPad の電源をオンにします。
-

---

シリアル・マウスまたは **PS/2** マウス以外のマウスの場合  
外付けマウスは以下のようにして使用します。

- 1 作業を保管し、使用中のプログラムをすべて終了します。
- 2 外付けマウスを接続します。
- 3 「ThinkPad の設定」プログラムを始動します。
- 4 「トラックポイント」ボタン (  ) をクリックします。
- 5 「使用しない」を選択します。
- 6 「OK」をクリックします。

トラックポイントを再び使用するには、以下のようにします。

- 1 「ThinkPad の設定」プログラムを始動します。
  - 2 「トラックポイント」ボタン (  ) をクリックします。
  - 3 「使用する」を選択します。
  - 4 「OK」をクリックします。
  - 5 外付けマウスを取り外します。
-

## ヒントおよび制限事項

ここでは、ヒントおよび制限事項について記述します。



### Windows 98 および Windows 95 の場合:

Intel USB カメラを使用している場合、サスペンド・モードから通常操作を再開すると、USB カメラが使用できなくなります。USB カメラを使用可能にするには、いったんそれを取り外し、もう一度接続してください。

CD-ROM ドライブのプロパティの設定のために、「ThinkPad の設定」プログラムで設定したタイムアウト期間が終了しても、サスペンド・モードやハイバネーション・モードに入れない場合があります。サスペンド・モードやハイバネーション・モードを使用する場合は、次の手順に従って、CD-ROM ドライブのプロパティを変更してください。

- 1 タスクバーの「スタート」から、「設定」、「コントロール パネル」の順にクリックします。
- 2 「システム」アイコンをダブルクリックします。
- 3 「デバイス マネージャ」タブをクリックし、「**CD-ROM**」をダブルクリックします。
- 4 「**CD-ROM**」の下にある CD-ROM ドライブ名をクリックしてから、「プロパティ」ボタンをクリックします。
- 5 「設定」タブをクリックし、「オプション」ボックスの「挿入の自動通知」の横のチェック・ボックスをクリックして、チェック・マークを外します。
- 6 「OK」をクリックし、ThinkPad を再起動します。

スクロールおよび拡大鏡機能を使用するには、外付けマウスを取り外し、トラックポイントを使用可能にする必要があります。



#### **OS/2 Warp 4** の場合:

HPFS/NTFS ファイル・ベースのハイバネーションはサポートされません。

OS/2 環境でファックスまたはメールを受信する場合は、ファックスのアプリケーションのモデム設定値を、以下のいずれかに設定する必要があります。

- ハードウェア FIFO 使用可能
- ハードウェア・フロー制御オン
- UART 16550A モデム

たとえば、OS/2 FaxWorks では、「ユーティリティー」、「設定」、「モデムの形式」、および「**H/W FIFO (16650A)**」を選択します。

ご使用のモデムをこれらのいずれかの設定値に設定しない場合は、サスペンド・モードで着信ファックスまたは着呼を受け取ることはできません。



#### **Windows NT** の場合:

HPFS/NTFS ファイル・ベースのハイバネーションはサポートされません。



# 問題判別表

## エラー・コードまたはメッセージ

次の表には、エラー・コードまたはメッセージとその対処方法が記載されています。


注: この表では、x は任意の文字を表します。

問題	原因と対処
0200 (ハードディスクのエラー)	次の処置をとります。 <ol style="list-style-type: none"><li>1. ThinkPad の電源をオフにします。</li><li>2. ハードディスクを取り外し、しっかりと再度取り付けます。ユーザーズ・リファレンス を参照してください。</li><li>3. ThinkPad の電源をオンにします。</li></ol> それでも問題が解決しない場合は、ThinkPad の修理を依頼してください。

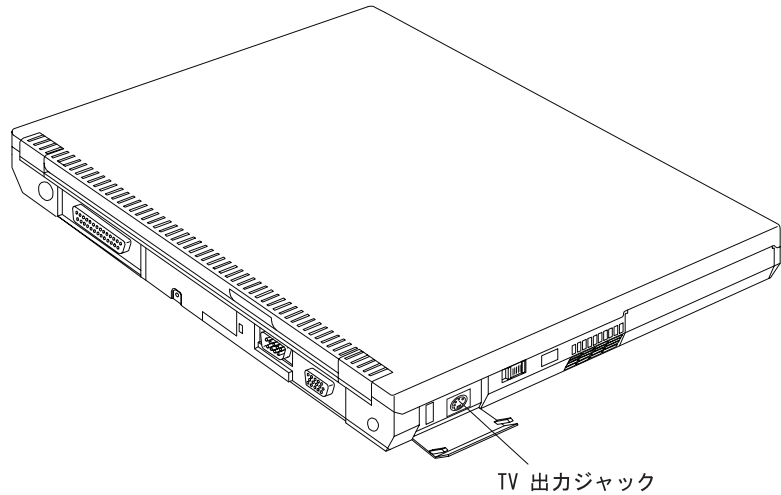
問題	原因と対処
021x (キーボードのエラー)	<p>キーボードまたは外付けキーボードの上に、何も置かれていないことを確認します。何か置かれている場合は、それがキーを押していないか確認します。ThinkPad の本体の電源をオフにし、接続しているすべてのデバイスの電源もオフにします。まず最初に、ThinkPad の電源をオンにし、次に接続しているデバイスの電源をオンにします。</p> <p>それでも問題が解決しない場合は、ThinkPad の修理を依頼してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 外付けキーボードを接続している場合は、次のようにします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>– ThinkPad の電源をオフにし、外付けキーボードを取り外します。続いてThinkPad の電源をオンにし、本体のキーボードが正しく動作するか確認します。正しく動作する場合は、外付けのキーボードの修理を依頼します。正しく動作しない場合は、ThinkPad の修理を依頼してください。</li> <li>– ThinkPad にキーボード/マウス・コネクタを使用して、外付けのキーボードを接続している場合は、正しいコネクタに接続されているか確認します。</li> </ul> </li> </ul>
0250、0260、0270 (システム・バッテリーまたはタイムのエラー)	ThinkPad の修理を依頼してください。
0280 (直前のブート不完了 - 省略時の構成を使用)	<p>ThinkPad で、直前のブート処理が正しく完了しませんでした。ThinkPad の電源をオフにして、再度オンにしてください。</p> <p>同じメッセージが表示される場合は、ThinkPad の修理を依頼してください。</p>

問題	原因と対処
02Bx (ディスクレット・ドライブのエラー)	<p>次の処置をとります。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ThinkPad を再起動します。</li> <li>2. IBM ThinkPad のロゴ・マークが表示されている間 <b>[F1]</b> キーを押し、「BIOSセットアップ・ユーティリティ」に入ります。</li> <li>3. 矢印キー ( <input type="checkbox"/> または <input type="checkbox"/> ) を使用して「Config」を選択し、<b>[Enter]</b> キーを押します。</li> <li>4. 「Advanced Setup」を選択し、<b>[Enter]</b> キーを押します。</li> <li>5. 「Others」を選択し、<b>[Enter]</b> キーを押します。</li> <li>6. 「FDD」を選択し、「Internal」に設定されているか確認します。</li> <li>7. <b>[F10]</b> を押して保存し、「BIOS セットアップ・ユーティリティ」を終了します。</li> </ol> <p>それでも問題が解決しない場合は、ThinkPad の修理を依頼してください。</p>
02D0 (システム・キャッシュのエラー - キャッシュが使用不可)	ThinkPad の修理を依頼してください。
023x (メモリーのエラー)	DIMM オプションが正しく取り付けられているか確認します。正しく取り付けられている場合は、IBM 代理店またはIBM 営業員に連絡して交換します。ThinkPad の修理を依頼しなければならない可能性があります。
0251 (System CMOS のチェックサム・エラー - 省略時の構成を使用)	CMOS が壊れているか、間違えて変更されています。「BIOS セットアップ・ユーティリティ」に入り、省略時の設定をロードします。次に、ThinkPad を再起動します。それでも問題が解決しない場合は、ThinkPad の修理を依頼してください。
02Fx	ThinkPad の修理を依頼してください。

## LCD (液晶ディスプレイ) の問題

問題	処置
画面が判読不能またはゆがんでいる。	<p data-bbox="592 226 876 249">次の項目を確認してください。</p> <ul data-bbox="608 272 1215 1125" style="list-style-type: none"><li data-bbox="608 272 1215 743">• ThinkPad ディスプレイ・ドライバーが正しくインストールされているか。<ol data-bbox="648 348 1215 602" style="list-style-type: none"><li data-bbox="648 348 1215 404">1. タスクバーの「スタート」から、「設定」、「コントロール パネル」の順にクリックします。</li><li data-bbox="648 422 1090 446">2. 「画面」アイコンをダブルクリックします。</li><li data-bbox="648 469 1215 525">3. 「画面のプロパティ」のウィンドウで「ディスプレイの詳細」タブを選択します。</li><li data-bbox="648 548 1215 602">4. (Windows 98 の場合) 「詳細設定」をクリックし、「アダプター」タブをクリックします。  (Windows 95 の場合) 「詳細プロパティ」をクリックします。「アダプター/ドライバー情報」ウィンドウが表示されます。ディスプレイ・ドライバー情報が正しいことを確認します。</li></ol></li><li data-bbox="608 761 1215 1125">• 次の手順に従って、ディスプレイの解像度と色数に設定されているリフレッシュ速度値を確認してください。<ol data-bbox="648 837 1215 1125" style="list-style-type: none"><li data-bbox="648 837 1136 860">1. 「ThinkPad の設定」プログラムを始動します。</li><li data-bbox="648 883 1132 939">2. 「LCD」 (  ) アイコンをクリックします。</li><li data-bbox="648 949 1005 973">3. 「プロパティ」をクリックします。</li><li data-bbox="648 996 1215 1052">4. 「ディスプレイの詳細」ウィンドウの設定値が正しいことを確認します。</li><li data-bbox="648 1075 1215 1125">5. 「OK」 ボタンをクリックしてウィンドウをクローズします。</li></ol></li></ul>

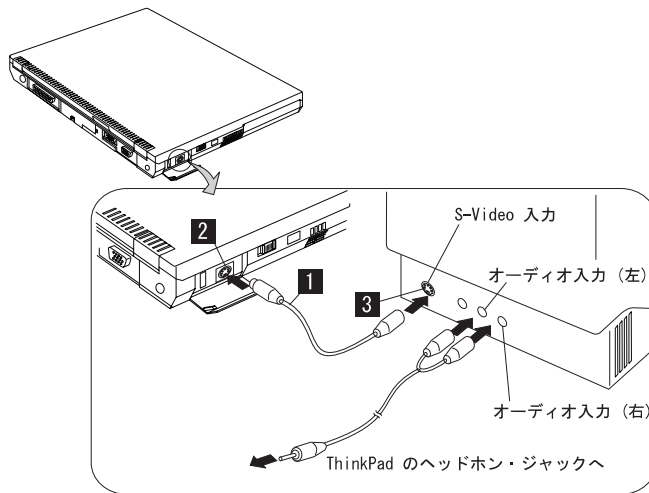
- ThinkPad 390E は、内蔵 2 次キャッシュ付き Intel® モバイルPentium® II プロセッサまたは Intel® モバイルCeleron® プロセッサを装備しています。
- ThinkPad 390E は、TV 出力 (S-Video 出力) ジャックを装備しており、ThinkPad にテレビを接続することができます。



## ご使用の ThinkPad にテレビを接続するには

ThinkPad 本体にテレビ (NTSC または PAL 型式) を接続し、テレビに ThinkPad の出力を表示させることができます。テレビに ThinkPad の出力を表示する手順は、次のとおりです。

- 1** ThinkPad とテレビの電源をオフにします。
- 2** S-Video 入出力ケーブル (1) をビデオ出力コネクター (2) に接続し、次に、テレビを接続します。



- 3** 「ThinkPad の設定」プログラムの「LCD」ウィンドウで、ビデオ出力コネクター (テレビ出力) を使用可能にします。次のようにします。
  - a** 「ThinkPad の設定」プログラムの「LCD」アイコンをクリックします。
  - b** 「プロパティ」ボタンをクリックします。
  - c** 「詳細」ボタンをクリックします。
  - d** 「NeoMagic MagicMedia 256AV のプロパティ」ウィンドウの「NeoMagic」タブをクリックします。
  - e** 「詳細」ボタンをクリックします。

**f** 「Advanced Setting」ウィンドウで「External Display Device」の CRT にチェック・マークを付けます。

注:

1. S-Video 入出力ケーブル (1) およびオーディオ入出力ケーブルは、ご使用の ThinkPad には付属していません。別途購入してください。
2. お持ちのテレビにオーディオ入力コネクタが 1 つしかない場合は、オーディオ・ケーブルのオーディオ・コネクタ (左) を使用してください。



部品番号: 27L8749

Printed in Japan

